

旭公民館だより

発行 令和7年6月
旭公民館
館長 伊吹 公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

特集!

子どもの安全を守るために

～「子ども110番の家」の取り組みを通して～



子どもの安全を守るため様々な対策が行われている中、今回旭小学校 PTA（皿田勝裕会長）が取り組んでいる「子ども110番の家」リニューアルについて紹介します。

また、それに関連した事柄が旭学区内にあることもわかりましたので、一部紹介します。

最初に「子ども110番の家」リニューアルになぜ取り組むことになったか、今後の予定など旭小学校 PTA 副会長（生活部担当）の塚本裕次郎さんにお話を伺いました。

インタビューの概要は次のとおりです。

看板が古くなっている、「子ども110番の家」を続けていくのが困難といった地域からの声に対して「何とかせんといけんあ」と思い、まずは「子ども110番の家」に協力していただいている方が、今どう思われているかを把握するため、アンケート（昨年実施）を取ってみた。

すると次のような色んな意見が出てきた。

・看板が古い、色あせた、目立つ看板にしてほしい。
・高齢になって協力がむずかしい。
・登下校の列がきちんと並んで歩いていない。
・あいさつをしない。etc

これらの意見を参考にして、子どもの安全安心を第一に「子ども110番の家」をリニューアルすることとした。

内容としては、

・看板をわかりやすいよう、新品にする。
・協力いただいている方に継続か終了か確認する。
・新規の方を募集する。
・マニュアルを作成し、看板と一っしょに配る。



旭小PTA・旭小CS・府中市教育委員会・旭学区町内会

子ども110番の家

新しい看板

・看板プレートの製作費については、旭小PTA・旭小CS・府中市教育委員会と合わせて旭学区内の各町内会からも願います。（裏面へ続く）

《子ども110番の家》

【子ども110番の家とは】

子どもたちが身の危険を感じたときや、犯罪等の被害に遭遇または遭いそうになったときに、緊急避難できる場所のことです。

【はじまりは】

幼児・児童を対象とした誘拐事件、殺傷事件が連続して発生したことを契機として、児童などが助けを求めることができる民間協力の避難場所として、岐阜県で平成8年3月に始まった取り組みです。

【広島県では】

平成9年4月に旧上下町で「上下っ子を育てる連絡協議会」が設置したのが始まりです。

【旭小学校では】

平成18年に広谷町青少年健全育成協議会・中須町青少年補導員協議会が中心となって、学区内の各町内会・老人会とともに「旭っ子を守る会」が立ち上がりました。

「子ども110番の家」の運営や看板の管理などは、当初は「旭っ子を守る会」が行っていましたが、現在は旭小学校 PTA の生活部が担当しています。

なお、地域住民のみなさんに趣旨を理解していただくため、各町内会の協力を得て回覧板で周知を図る。

また、子どもたちがどこに「子ども110番の家」があるか、自分たちで位置を地図の上に落としこんで場所を知っておくことが必要である。なお、この取り組みは、旭小学校4年生の防犯教育の授業として行われる予定。さらに、その地図を全学年が活用することが大切ではないかとのことでした。以上。

旭小学校PTAの取り組みが、地域を巻き込んだものとなりこれからも継続した活動となるよう、旭公民館も子どもの安全を守るため、一緒になって頑張っていきたいと思います。



大和ハウス工業（株）福山支店では、地域における社会貢献活動として、国土交通省中国地方整備局の子ども110番の取り組みの趣旨に賛同され、昨年から活動を始められています。

協力会社の理解を得て「子ども110番のこうじげんば」の看板を工事期間中掲げ、子どもが助けを求めやすい雰囲気にすることで一時保護や、子どもが危険な状況のときには、警察への通報を行うことなどを取組まれます。

このように子どもたちが助けを求められる場所が少しでも増えることは、地域にとってもありがたいことだと感じました。



こんな看板を目にしました

＝アパート建築工事現場（広谷町）にて＝

国土交通省中国地方整備局 子ども110番の取り組み

【目的】

歩行者や周辺住民へ迷惑をかけることが多かった路上工事の現場を、子どもを見守り、保護する場所として提供することで、犯罪抑止効果による地域貢献、地域との連携強化等を目指しています

【特徴】

- 1, この取り組みは、中国地方整備局広島国道事務所が2006年1月から全国で初めて導入し、同3月より中国管内全域の取り組みに努めています。
- 2, 工事受注者の自主的判断で実施されるもので、発注者は助言・サポートを行います。
- 3, 子どもへの周知は、学校、警察と連携・協力して行います。
- 4, 工事中は「子ども110番の工事現場」であることを示すロゴマークの入った看板等を設置しています。

【標準的な取り組み内容】

子どもが危険な状況のとき、子どもの一時保護や警察への通報を行います。

国土交通省中国地方整備局のホームページから引用

最後に

今回、特集記事で関連した取り組みを取材するなか、残念なことに活動が形骸化しているようなものも見受けられました。年数が経過し担当者も代わることで当初の想いが継承されず、ステッカーなどの物的な物さえも見あたらない状況もありました。なんとも言いようのない気持ちでしたが、改めて継続していくことのむずかしさを痛感しました。

しかし、この度の「子ども110番の家」リニューアルの取り組みは、子どもの安全を守るという原点に立ち返り、さらには新規の募集など再構築を図るもので、大変意義深いと思います。

今後、旭小学校PTAが地域において活躍されることを大いに期待しております。

初心
忘れる
べからず